

令和3年第3回幸手市議会定例会 市政に対する一般質問通告書（通告順）

発言 順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	2	坂 本 達 夫	<p>1 循環バスについて</p> <p>2 商工観光課に設置した「工業団地等相談窓口」について</p> <p>3 幸手市のサクラについて</p> <p>4 窓口トラブルについて</p>	<p>(1) 開始日、バスの大きさ、台数、路線数、バス停数、所要時間、本数、料金について伺う。</p> <p>(2) 市民へ公表する時期、方法について伺う。</p> <p>(1) 窓口を設置した市としての意欲、目的を伺う。</p> <p>(1) 外来害虫クビアカツヤカミキリの発生と対策、駆除方法について伺う。</p> <p>(2) 県営権現堂公園のサクラの世代交代を担う人について伺う。</p> <p>(1) 窓口トラブルを市長に報告する仕組みは整っているのか伺う。</p> <p>(2) 木村市長就任以来、窓口トラブルにより事務手続きを改善した例はあるのか伺う。</p> <p>(3) 全ての窓口トラブルを担当する窓口改善担当を設置すべきと考えるが、市長の意見を伺う。</p>

2	1	四本奈緒美	1 防災・減災対策について	<p>本年6月29日、災害発生時の職員訓練が実施され、幸手小学校体育館において新型コロナウイルス感染症対応の避難場所設置訓練が行われた。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して新しく購入をした資機材を使用して、避難場所の区画割、資機材の設置、受付設置、ペット避難対応等非常に有意義でありまた、新たな課題が明確になった訓練でもあった。</p> <p>(1) 避難場所を設置・運営する為には市職員、施設管理者、地域（自治会、自主防災組織等）の3者の協力が重要であることが訓練を通して再認識された。今後の取り組みを伺う。</p> <p>(2) 幸手市も今夏は真夏日、熱帯夜の日が続き、連日防災行政無線からの熱中症の注意喚起の放送が流れていた。避難場所・避難所となる体育館へのエアコン設置が必要と考えるが、空調設備について市の考えを伺う。</p> <p>(3) 幸手市では2019年の台風19号の災害時、避難勧告が発令され、自主避難を含め2,543名の市民が避難場所に避難をした。災害時に市民が安全に避難場所に避難をするために、避難場所の開設状況、混雑状況、地図の情報を随時スマホやパソコンを使って一目で確認、可視化出来るソフトが開発され、民間企業が専用サイトを通じて無償提供をしている。幸手市として活用する考えを伺う。</p> <p>(4) 幸手市では本年1月より災害時用に液体ミルクを備蓄している。備蓄場所、備蓄数を伺う。</p> <p>(5) 消費期限に伴い入れ替えた災害用備蓄品の取り扱いと、ローリングストックについての市の考えを伺う。</p>
---	---	-------	---------------	--

			2 がん患者の負担軽減について	<p>日本において現在、一生涯の内のがんに罹患する人は2人に1人である（厚生労働省）。がんの手術や治療を行いながら仕事、学業、育児などの社会参加を続けていく、がんと共に生きる時代と言える。</p> <p>(1) がん罹患患者への支援について幸手市の現状を伺う。</p> <p>(2) アピアランス（外見）の変化に伴う悩みを抱えるがん患者の方への支援をアピアランスサポートと言う。抗がん剤や放射線治療の影響による脱毛や、手術による乳房切除などによる外見の変化に伴い、社会参加への不安を持つがん患者の方に医療用ウィッグ、人工乳房や補整下着等の購入費用を助成するアピアランスサポート事業について市の考えを伺う。</p>
3	7	本田 謡子	<p>1 クビアカツヤカミキリについて</p> <p>2 コロナ禍の幸手市の対応や対策などについて</p> <p>3 介護関係のワンストップ窓口について</p>	<p>(1) 桜の敵であるクビアカツヤカミキリの市内の現状と対策を伺う。</p> <p>(1) 自宅療養者の対応と現状、そしてこれからの対策について伺う。</p> <p>(2) 市民への啓発活動について、市の考えを伺う。</p> <p>(1) 介護申請から始まる一連の手続きについて伺う。 （例として、90代の老夫婦の二人住まいで、自宅で転び脊髄圧迫骨折で入院、車いす生活となるご主人で、まったく介護のお世話になったことがない場合の手続き）</p> <p>(2) 実際にわかりやすい手続きであると言いきれるのかを伺う。</p> <p>(3) 改善策として「介護のワンステップ窓口」を提案するが、市の考えを伺う。</p>

4	8	小河原 浩和	1 市長の選挙公約実現に向けた進捗状況とその課題について	<p>(1) 市長就任から約2年が経過した今、市長公約の進捗状況を具体的にどのような施策や事業を実施したのか、市長に伺う。</p> <p>(2) 公約実現が困難と考えられるものは有るのか、市長に伺う。</p> <p>(3) 公約実現のための課題は何かを市長自身とらえているのか。市長に伺う。</p> <p>(4) 課題克服のための方策を部課長会議や政策会議等で、どのようなことを指示されたか、市長に伺う。</p>
5	3	海老沼 隆夫	1 幸手市の平和都市宣言等について	<p>(1) 幸手市は、1990年に近隣市町村に先駆けて平和都市宣言を行い、2000年からは広島での平和記念式典に生徒数人と共に市長(町長)も毎年参加して来ました。残念ながらコロナ感染絡みで、昨年と今年は出席が叶わずに生徒には残念な思いをさせていただきました。6月議会に引き続き確認いたします。コロナ収束後には、これまでの計画通りに、生徒とともに市長も出席するのかを伺います。</p> <p>(2) 広島での平和記念式典には、「平和の作文」の入賞者を派遣して来た訳ですが、入賞者を派遣することができない現在、「平和の作文」の取り組み自体は、現在どのようになっているのかを伺います。</p> <p>(3) 平和都市宣言をいち早く実施した幸手市、日本の平和・世界の平和を願う幸手市として、未来を担う幸手市の小中学校の生徒達には、どのように工夫した平和教育がなされているのかを伺います。</p> <p>(4) 平和教育の学習・指導は、それぞれの学年で、週又は月あるいは年に何コマの指導がなされているのかを伺います。</p>

			<p>2 新型コロナウイルス感染防止対策について</p>	<p>(5) 平和教育については、教科書等を広げた学習だけでなく、平和教育に熱心な知識人などによる講演等も有効と考えます。そのような計画などの有無を伺います。</p> <p>(6) 幸手市は1998年1月に平和首長会議に参加しているが、参加に至った理由と目的を伺います。</p> <p>(7) 平和首長会議に参加してのこの間、幸手市に於いてはどのような取り組みが有ったのか、今年又は次年度にはどのような取り組み計画が有るのかを伺います。</p> <p>(8) ホームページなどでは、平和首長会議についての扱いが殆ど見られないように思われますが、それはなぜかを伺います。</p> <p>(1) 感染者の自宅療養については、家族への感染被害を防止する上でも直ちに止めるべきですが、その対策として、幸手市はどんな計画を考えているかを伺います。</p> <p>(2) 幸手市は、個人情報を守るためと、県から指示された通りに感染者の数値のみの公表しかしていないが、それで感染防止が徹底出来るとお考えなのかを伺います。</p> <p>(3) 感染者には直ぐに入院又は隔離治療等を十分に施し、感染の原因を聞き取ることは、決して個人情報の漏洩には成りません。感染防止のために、原因と思われることを把握し、市民に伝えることが必要と考えますが、市の考えを伺います。</p>
--	--	--	------------------------------	--

				<p>(4) 防災行政無線も、同じ文言の繰り返しでなく、個人が特定されるような情報は止めても、コロナ感染防止のために、市民に伝えられる患者から得られる情報は必ず有ると考えますが、市の考えを伺います。</p>
6	9	小林啓子	1 行政のデジタル化・情報格差対策について	<p>国においては、行政手続きのオンライン化など、社会全体のデジタル化が進められる中、デジタル技術を使いこなせる方々とそうでない方々の「デジタル格差」の解消が重要な政策課題としている。</p> <p>内閣府の世論調査によれば、70歳以上の高齢者の方の約6割が、スマートフォン（略してスマホ）などの情報通信機器を利用していないと回答していることが分かった。</p> <p>社会のデジタル化が急速に進む中で、助けを必要とする人に十分な支援が行きわたるようにすることが急務である。</p> <p>(1) 現在幸手市において、スマホ等を使用してオンライン行政手続きができる業務は何種類あるのかを伺う。(業務リストの配布をお願いします)</p> <p>(2) スマホの操作が苦手な市民のために、国の補助事業である「デジタル活用支援推進事業」を活用して①スマホ教室の開催②スマホの無償貸し出し③オンライン会議の参加・各種電子申請・オンライン申請・マイナポータルの使い方・オンライン診療や予約の仕方を相談できる窓口の設置をすることが必要と思うが、幸手市としての考えを伺う。</p> <p>(3) 国がデジタル庁を設置するタイミングに合わせ、幸手市としてデジタル推進室などの設置が必要と思うが、幸手市としての考えを伺う。</p>

7	15	大 平 泰 二	<p>1 介護保険制度の事業及び特別会計について</p> <p>2 新型コロナウイルス感染対策について</p>	<p>(1) 令和2年度事業対象の東西地域包括支援センターとの契約内容とその評価について伺います。(契約及び評価内容の資料提出)</p> <p>(2) 評価の内容について、東西地域包括支援センターの職員にはどのように知らせたか伺います。</p> <p>(3) それぞれの包括支援センターの業務内容とその量及び職員数について伺います。</p> <p>(4) 社会福祉協議会を含めた公設包括支援センターの在り方について市長に伺います。</p> <p>(5) 特別会計基金運用(同日積立・取崩し)の在り方について伺います。</p> <p>(6) 令和元年・2年度の歳入における繰越金の当初予算と補正の意味について伺います。</p> <p>(1) 臨時医療施設を設けることについて市内のホテルの借り上げ、またはアスカル幸手の体育館かホールを活用することを県に提案し、そのことについて伺います。その場合、医療機器・医師・看護師等の配置はどのように検討されるか伺います。</p> <p>(2) 感染者に対する援助や感染経路の把握について伺います。</p> <p>(3) 幸手保健所に対する支援について伺います。</p> <p>(4) ワクチン接種の予約状況と供給状況について伺います。</p>
---	----	---------	---	--

				<p>(5) 職員の過重な勤務問題と勤務体制について伺います。</p> <p>(6) 小中学校の予防対策と検査体制強化について伺います。</p>
8	10	松田雅代	<p>1 市の学校教育内容の充実について</p> <p>2 市のカーボン・ニュートラル対策への取り組みについて</p>	<p>2018年から幼稚園の、2020年より小学校の、2021年から中学校の教育指導要領が改訂を迎えている。さらに今年1月、中央教育審議会から『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」との答申が出された。この度の教育指導要領の改訂は、昭和以前、明治以来の日本の教育に大きな変化を求めるものであり、その内容について、学校、家庭、地域が共通認識を持つことが極めて重要と考える。そこで、</p> <p>(1) これまでの「日本型教育」の評価と課題、新指導要領改訂のポイントを伺う。</p> <p>(2) 市の教育はどう変わるのか。市の教育課題と今後の取り組みのポイントを伺う。</p> <p>(3) タブレット端末導入による、学校での「個別最適な学び」（個に応じた指導・指導の個別化と学習の個性化）の考え方の整理、家庭学習（宿題・予復習）、自主学習、夏休みの宿題での活用状況、今後の方向性を伺う。</p> <p>(4) 教員の働き方改革、子どもたちの学びの量・質的变化に対応するマネジメントに必要な機能や人材、体制の強化について、教育長、市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 温暖化対策事業推進の現状と課題、今後の取り組みを伺う。</p> <p>(2) 廃棄物の排出抑制の現状と課題、今後の取り組みを伺う。</p>

			3 人口問題、移住・定住政策の推進について	<p>(1) 「第2期幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の人口転出超過数の数値目標に対するしあわせ3世代ファミリー定住支援、住宅リフォーム支援、移住促進PR事業の効果、今後の取り組みを伺う。</p> <p>(2) 幸手中央地区産業団地立地企業との連携強化による雇用機会拡大の成果と課題、今後の取り組み強化策を伺う。</p>
9	4	小林英雄	<p>1 環境問題について</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症への対応・対策について</p> <p>3 市内小・中学校の現状と将来について</p>	<p>(1) 幸手市の地球温暖化に対する取り組みについて伺う。</p> <p>(2) カーボンニュートラル（温室効果ガス排出ゼロ）に取り組む自治体が増えているが幸手市の考えを伺う。（取り組み自治体の資料を請求）</p> <p>(3) 幸手市の廃棄物処理について可燃ごみ処理の今後の見通しを伺う。</p> <p>(1) 現状の新型コロナウイルスワクチン対策室の職務を見ると職員数不足と思われるが市の考えを伺う。</p> <p>(1) 各小学校の児童数とどのようなクラブがあるのか、また、クラブ活動の内容について伺う。</p> <p>(2) 各中学校の生徒数とどのようなクラブがあるのか、また、クラブ活動の内容について伺う。</p>
10	11	木村治夫	1 公共施設アセットマネジメントの推進について	(1) 平成29年3月に公共施設等総合管理計画を策定し、令和2年度に公共施設個別計画を策定し、令和3年度以降は計画に基づき公共施設の複合化、廃止、長寿命化等に向けて着手するとあるが、現在

			<p>2 農業生産基盤の整備と優良農地の保全について</p>	<p>の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) P D C Aサイクルにより計画の進捗管理及び見直しを行うとあるが、現在の進捗状況について伺う。</p> <p>(3) 公共施設等総合管理計画及び公共施設個別施設計画の改訂を行い、財政負担の平準化を図るとあるが、中期展望の具体的施策について伺う。</p> <p>(4) 各公共施設利用等に於ける使用目的・使用料金等（市全体の共通の利益）の見直し、また、行政サービス向上に向けた施策について市長に伺う。</p> <p>(1) 農業者の生産意識の変化等に対応する適切な施策について伺う。</p> <p>(2) 本市農業の農地の農業上の有効利用実態等について、市は適切に把握し、対策を講じているのか伺う。</p> <p>(3) 市として、優良農地保全の観点から、通称、赤道と言われる道路等の問題について伺う。</p>
1 1	5	枝久保喜八郎	1 住みやすい街づくりについて	<p>(1) 県営権現堂第二公園のアミューズメント設備の概略について伺う。</p> <p>(2) 安心安全な街づくりと子育て環境の向上につながる施策について伺う。</p> <p>(3) 農地利用における公園整備の考え方について伺う。</p>

			<p>2 新庁舎建設資金の考え方について</p> <p>3 「いじめ」に対する見解について</p>	<p>現在の幸手市では、福祉の充実など一般行政に関わる課題とは別に新庁舎の建設が待たなしの状況にある。安全性の問題は言うに及ばず、雨漏りもひどいと聞く。しかしながら、財政状況を考える限り、その建設時期に具体性が見えてこないのも現実である。県内だけの話でもいくつかの自治体で新庁舎の建設計画が進み、実現させている例も増えている。そこで、次の項目について伺う。</p> <p>(1) 県内に限らないが、わかる範囲で先進自治体の建設資金捻出方法の実態について。</p> <p>(2) 建設資金から割り出される平米単価について。</p> <p>(3) 人口または職員数と総建設費および床面積の相対関係について。</p> <p>(4) 新庁舎のデザインが話題になった例について。</p> <p>(5) 以上から想定される（すべき）当市の新庁舎建設規模および建設費用総額の見込みについて。</p> <p>(6) 現時点で、どの程度踏み込んだ計画進展状況にあるか。</p> <p>「いじめ」が常に教育現場の問題として社会問題となっている。そこで教育長に伺います。</p> <p>(1) 「いじめ」という問題について、法的見地や全国の実態例等に鑑みて、幸手市教育委員会としての概念、見解について伺う。</p> <p>(2) 対処療法、教員指導等々にマニュアルがあるのか、またそれが生</p>
--	--	--	---	---

				<p>かされているかについて伺う。</p> <p>(3) この問題は、係争に至り、泥沼化する例が少なくない。解決への道を遠くする原因と、その原因を取り除く良策があるかどうか伺う。</p>
1 2	1 4	武 藤 壽 男	<p>1 職員の時間外勤務（残業）の状況とその要因、職員の勤務の市の現況と方針について</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症の市の現状認識と対応について</p>	<p>(1) 令和元年度から現在まで1か月の時間外勤務時間の多い時間の、上位10位まではどれくらいの時間でどのような業務課か伺う。また、資料の提出をお願い致します。</p> <p>(2) 職員一人当たりの平均は何時間か伺う。</p> <p>(3) 法令で定められた勤務時間を超える件数は何件あるか伺う。</p> <p>(4) 職員組合との協定はあるのか、その内容について伺う。</p> <p>(5) 職員から直属の上司或いは、市の部局に対する申し出では何件くらいあったのか、また、対応はどのようにされたのか伺う。</p> <p>(6) 休職者の状況とその理由について伺う。</p> <p>(7) これらを踏まえ各課の定員管理をどのように考えるか伺う。</p> <p>(1) 現在の感染状況について伺う。</p> <p>(2) 幸手市の現在の入院者数、宿泊療養者数、自宅療養者数について伺う。</p>

				<p>(3) 感染者の8月以来の急増の中で、救急車による救急搬送の一般疾病とコロナ感染者の件数と救急車の待機状況、搬送状況について伺う。</p> <p>(4) 自宅療養の市民の、家族内の感染リスク、感染者の隔離、在宅治療の往診治療の現状、感染者の食事の困難さなど、市はどのように考えているか伺う。</p> <p>(5) 市の感染症行動計画の中で、対応は示されているが、対応について伺う。</p> <p>(6) 現在は、医療の逼迫などにより、危機的な危機管理対応が必要と思われるが、臨時的医療施設の設置など、県、医師会、医療関係者などと連携協議をし、市民の健康と生命を守るため、必要と思われるが、そのような考えはいかがか伺う。</p>
13	12	藤沼貢	1 人口問題について (市長選挙公約)	<p>(1) 子育てしやすい環境整備で「人口の減少に歯止めを」について市長に伺う。</p> <p>(2) 行政組織の活性化「市民から信頼される人材育成」について市長に伺う。</p> <p>(3) 財政基盤の強化について市長に伺う。</p> <p>(4) 災害、くらしに強い街づくりについて市長に伺う。</p>